

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年08月10日

計画の名称	快適な水環境実現のための重点計画												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	伊東市												
計画の目標	アクションプランに基づき、污水幹線の延伸と共に面的整備に努め、下水道未普及区域の解消により污水处理の普及を促進し、公共用水域の水質保全を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	602	A	602	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R4末)
1	污水处理人口普及率を60%(平成30年度当初)から62%(令和4年度末)に増加させる。 污水处理人口普及率(%) 污水处理人口(下水道人口+合併浄化槽人口+コミュニティプラント人口)/行政人口×100=	60%	61%	62%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H30	H31	R02	R03	R04					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
下水道事業	A07-001	下水道	一般	伊東市	直接	伊東市	管渠(汚水)	新設	伊東処理区管渠整備(未普及解消)	汚水管 300mm~200mm L=2,400m マンホールポンプ設置 N=1基	伊東市						594		-		
	A07-002	下水道	一般	伊東市	直接	伊東市	-	-	効率的な事業実施のための計画見直し(未普及解消)	事業計画見直し	伊東市						8		-		
												小計						602			
												合計							602		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 当市上下水道部内で実施した。	事後評価の実施時期 令和5年7月
	公表の方法 当市のホームページで公開する。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	汚水人口処理普及率が60%から62%になり目標が達成されたことから、汚水処理の普及促進による公共用水域の水質保全に寄与できた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	目標が達成され汚水幹線がほぼ計画どおり布設できたので、次年度以降は、老朽化した地域汚水処理施設の公共下水道への統合や住宅密集地への支線の布設による面整備が可能となり、下水道未普及区域の解消による汚水処理人口普及率の向上が期待される。
特記事項（今後の方針等）	
<p>次により更なる下水道整備の促進を図り、下水道未普及区域の解消による快適な水環境実現を目指す。</p> <p>1 本整備計画において川奈処理分区内の汚水幹線の延伸はほぼ完了したことから、今後も「アクションプラン」に基づき老朽化した地域汚水処理施設の公共下水道への統合を図るとともに住宅密集地の面整備を促進する。</p> <p>2 下水道整備が遅滞している私道については、「伊東市私道敷地内公共下水道取扱要綱」に基づき積極的な整備に努める。</p> <p>3 人口減少及び社会情勢の変化に対応した下水道計画区域の見直しを行い、効率的な下水道整備を図る。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終 目標値	62%
	最終 実績値	62%